

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・ バランス系の動き
- ・ 自分の可動域を知り、どのように動けば衝突をせずに動くことができるのかを学ぶ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・ リスキープレイを行った中で安全の定義に基づいて取り組めるように設定した。

2. 活動スケジュール

開始から10分は巧技台やビームなどの用具に当たらないように体を動かす時間を設け、その後は自由に遊ぶ時間にした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

巧技台、マット、はしご、丸形はしご、滑り台、ビーム、鉄棒

部屋の半分は巧技台などを設置し、もう半分は体ほぐし遊びのブースにし、マットを敷く。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・開始10分の巧技台に当たらないようにする遊びではゆっくりした動きを取り入れ、自分のボディーイメージを持ち、ルールのある遊びが出来るようにする。
- ・バランス、回る、逆立ち、転がるの動きを取り入れ、鉄棒や丸型はしごを用いて体を動かす。また、大縄で郵便屋さんを行う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

初めの遊びでは自分の身体がどのようにすれば当たらないかを考え、ほふく前進をしながら通ったり、寝そべりながら進んだり、ボディーイメージを獲得しながら活動を行っていた。また、巧技台の横で大縄を行っていると、巧技台で遊んでいる子どもは大縄の邪魔にならないように避けながら遊ぶ姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動前に少しの時間でもボディーイメージを獲得できるような時間を設けることで、その後の活動に生きてくる事が分かった。また、安全の定義で守られた環境の中でリスクプレイを行った方が、子どもが得ることのできるベネフィットが大きいということを改めて感じた。いい遊び場とは小さな失敗を積み重ねることの出来る場所であるということ念頭に置き、環境設定を行う必要がある。